

脊髄空洞症で病院通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 家族性脊髄空洞症の全国疫学調査

[研究機関] 北海道大学病院神経内科

*調査対象機関：全国の神経内科、脳神経外科、整形外科、小児科を標榜する病院
(各学会認定教育施設)

[研究責任者] 佐々木 秀直（神経内科・教授）

[研究の目的] 家族性脊髄空洞症の疫学調査

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脊髄空洞症の患者さんで同じ疾患を親族に認める方、あるいは一卵性双生児で脊髄空洞症の方で全国疫学調査の対象となった施設に通院中の方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、イニシャル、病歴、既往、家族歴、身体所見、治療内容、検査結果（画像検査など）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院神経内科 担当医師 矢部 一郎

電話 011-706-6028